

歩み編さんだより

令和4年1月

Vol.3

『和泊町の歩み』編さん事務局発行

『和泊町の歩み』執筆者

リレーメッセージ

今昔を知り未来を拓く

『和泊町の歩み』の編集執筆に携わるにあたって

鹿児島大学名誉教授 皆村武一氏（皆川字出身）

和泊町の歩み編さん委員長・近現代史担当執筆者

この度、『和泊町の歩み』を編集・執筆できることを光栄に思うと

同時に、責任の重さを痛感しております。和泊町には既に『和泊

町誌』があり、町民のみならず、町外の人々にも広く読まれ、親しまれております。しかし、刊行からすでに30年以上が経過し、町をめぐる環境も著しく変化しています。加えて、かつて経験したことのない新型コロナウイルスの流行により、経済社会の変容を余儀なくされております。

このような困難な状況の中で、和泊町民が歴史的にいかに苦悩しつつも格闘して未来を切り拓いてきたかを、『和泊町の歩み』は明らかにし、町民と町外在住者の絆の書にしたいと思っております。何卒、皆さまのご協力をお願い申し上げます。



『和泊町の歩み』編さん事業

今後のスケジュール（令和3年度）



令和4年1月21日（金）	第3回歩み編さん委員会 開催
3月中	第2回和泊町の歩み編さん事業審議会 開催予定

※1月の編さん委員会開催に合わせ、各分野執筆者による実地調査を予定しています。

～深まる連携 大島地区内外の他市町村と情報交換～

編さん室では、群島内外の市町村誌編さん室との連携を積極的に深めています。緊密な情報交換により、目指すべき『和泊町の歩み』の姿が明確に見えてくるだけでなく、円滑な事業推進に向けた取り組みなどについての重要な気づきや示唆を相互に受けることができます。

また、同時代に市町村誌編さんという文化的大事業に取り組む自治体として、課題や問題意識を共有することは、「奄美群島研究」の裾野をさらに広げていこうとする使命感を共有することにもつながります。関係自治体と手を携え、新たな未来を切り拓いていきたいと考えています。



12月14日、伊仙町誌編さん室担当者2人が当編さん室を訪問されました（写真上）。本町における取り組みを実地に視察していただいた上、執筆者を交えた実りある情報交換もできました。



伊仙町誌編さん室と合同で実施した瀬戸内町（写真左）、宇検村（同左下）の視察の様子です。

先行自治体としての経験を踏まえ、町誌編さん事業全体や執筆・編集作業について貴重なアドバイスをいただくことができました。



徳之島での視察の様子です（写真上・左）。今後、県本土の自治体を視察し情報交換していく計画です。



『和泊町の歩み』編さん室（事務局）

〒891-9112

大島郡和泊町和泊591番地
町立図書館 1階 郷土資料室内

TEL：0997-92-3690

和泊町教育委員会生涯学習係

TEL：0997-92-1111（内線750）

担当：木場浅葱（学芸員）

先田光演（執筆編集員）、市来美穂（編集助手）

まーちもーり

歩み編さん事務局では古い写真や古文書、資料を探しています。提供いただいた資料は複写した上で必ずお返ししますので、お心あたりの方はご一報を！事務局は町立図書館内です。いつでも、お気軽にお立ち寄りください。

